

2020年11月10日

## 江崎グリコは、総務省が実施する 「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞 ～多様な人財が活躍できる組織風土づくりへの取り組みが表彰されました～

江崎グリコ株式会社は、この度、総務省が主催する「テレワーク先駆者百選」において、「総務大臣賞」を受賞しました。多様な人財が活躍できる組織風土づくりの一環として進めてきた「テレワーク」を中心とする様々な取り組みが、新型コロナウイルスの感染拡大後のニューノーマル(新常态)における先駆的な取り組みとして高く評価されたものです。

「テレワーク先駆者百選」とは、総務省がテレワークの普及・促進を目的として、テレワークの導入・活用を進めている企業・団体を「テレワーク先駆者」とし、その中でも十分な実績を持つ企業・団体を「テレワーク先駆者百選」として公表しております。江崎グリコは、令和2年度「テレワーク先駆者百選」に選定され、特に優れた企業・団体として、「総務大臣賞」を受賞いたしました。



### ■令和2年度「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」において評価いただいた点

- ◆2015年から、在宅勤務による育児介護従事者の両立支援にも取り組み、障がい者の就業支援や天候災害時における従業員の安全確保の観点でも有効活用。
- ◆コロナ以前から6割超の従業員がテレワークを活用。現在はコロナ感染予防対策で約8割が在宅勤務を実施。

当社では、さまざまなイノベーションを創出するために、多様な人財が活躍できる組織風土づくりを進めています。2015年に育児・介護従事者の両立支援を目的に、対象者を限定した在宅勤務制度を先行導入し、その後、全社的なイノベーションを指向した取り組みとして、生産性の向上とワークライフバランスの更なる改善を目的に、2018年からテレワーク対象者を正社員・契約社員に拡大し、働き方改革を加速させてきました。また、テレワーク勤務の推進と並行して、フレックス勤務制度の見直し(対象職種の拡大、コアタイムの撤廃)、時間単位年休取得制度の導入など、柔軟な働き方が実現可能な勤務制度の整備を進め、現在はテレワークとフレックス勤務の積極的活用による効率的な働き方の実践を奨励しています。さらに、勤務制度の拡充だけでなく、働きがいやワークライフバランスを高めるための社内セミナーの開催(オンライン)など、新たな価値創造を生み出す仕事環境の整備にも積極的に取り組んでいます。

Glico グループは、今後も、ダイバーシティ(多様な属性の人の活躍)を推進し、インクルージョンとして年齢、性別、人種、宗教、障がいの有無等にかかわらず適材適所で活躍するための施策を強化してまいります。

総務省の報道発表資料「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」等の公表

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01ryutsu18\\_02000001\\_00006.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu18_02000001_00006.html)